

北朝鮮による日本人拉致問題

～令和4年8月12日に行われた情報提供への呼びかけに参加しました。～

北朝鮮による日本人拉致問題とは

人権イメージキャラクター
人KENまもる君



・・・ 1970年代から1980年代に多くの日本人が不自然なかたちで行方不明となった事件がありました。その事件について、北朝鮮は、2002年9月の第1回日朝首脳会談において、拉致の事実とその謝罪、再発防止を約束し、同年10月には、5人の拉致被害者が帰国しています。

しかし、残りの安否不明の方々の帰国はかなっておらず、残された被害者たちは、その救出を待っています。

現在、政府によって、拉致被害者と認定された人は、全国で17人であり、鹿児島県においても、市川修一さんと増元るみ子さんが認定されています。

当日の人権擁護委員活動の概要

市川修一さんと増元るみ子さんが拉致被害にあってから44年後の令和4年8月12日に、拉致の現場である吹上浜近くで、毎年行われている情報提供の呼びかけを拉致被害者の御家族や鹿児島県警察、地元警察等とともに行いました。



私達が参加しました。



←このような資料を使って、

通行された方々に情報提供の呼びかけを行いました。



拉致問題は、それまで平穏に暮らしていた御家族の生活を破壊する深刻な人権問題です。拉致問題に関する情報については、鹿児島県警察本部（TEL 099-206-110）もしくは、日置警察署（TEL 099-273-0110）にお知らせ願います。

私たち人権擁護委員は、地域の皆様とともに誰もが住みやすい社会を目指して活動しています。人権擁護委員の活動を見かけられた際には、お気軽にお声かけください。

鹿児島県人権擁護委員連合会



人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん